

まず、今回の調査は新型コロナウイルスによる感染拡大による影響を大いに受けたため、昨年との結果との違いについての考察において、その影響が大いに含まれていることを念頭に置く。

現在の進路希望について、昨年との違いとしてその他と回答した生徒が多く見られた。その他の意見内容で最も多い意見として「まだ決まっていない、未定」との回答が多く見受けられた。これは新型コロナウイルスによる非常事態宣言による影響により、2年生の4月5月の段階で学校が休みとなり、授業の遅れやカリキュラムの遅れによるものであることが理由としてあげられるだろう。

進学を希望する生徒の理由としては、「将来や職業についてゆっくり考える時間が欲しい」と回答する生徒が増えており、こちらにも新型コロナウイルスによる影響により今後の社会情勢や生活についての不安が多いため、検討する時間を欲している学生が多いのではないか。その他として昨年同様、「専門知識を深く学びたいから」「進学した方が就職するのに有利だから」「希望する職業に就くためには、大学卒業資格が必要だから」という意見を半数以上の生徒が回答しており、専門学校等にて自分の目指す仕事の専門知識をさらに深く学びたいという将来の就職を見据えて進学を検討している生徒が多いことがわかる、その反面で「すぐに社会に出るのが不安」「将来や就職について、ゆっくり考える時間が欲しいから」といった意見も見られ、不安を持っている生徒と既に希望進路について決めている生徒で差が生まれているのではないかと考えられる。

一方就職を希望する生徒に関しては昨年同様の数値であり、就職を希望する理由としては大きな変化が見られなかった。また昨年同様に就職と答え生徒の回答として「収入が欲しい」「親に負担をかけたくない」という意見が半数以上を占めており、卒業後すぐに働きお金を稼ぎたい、家計を助けたいという想いから就職を目指す生徒が多いことがわかる。

以上の結果から2年生の11月の時点での進路希望については、新型コロナウイルスによる影響を大いに受けており、進路未決定の生徒割合が増加している。その中で進学を希望する生徒の理由として「将来や就職について、ゆっくり考える時間が欲しいから」といった意見も多く見られ、不安を抱える生徒が例年よりも増えてきている、そして進路についての考察が不十分であり検討の時間を必要としていることが見受けられる。新型コロナウイルスによる影響も含まれてはいるが、高等専修学校生の2年生の多くが非常に進路に対して不安を抱えていることがわかる。また、進路について十分に考えられている生徒と考えられていない生徒の差が大きく開いているのではないかと考えられる。

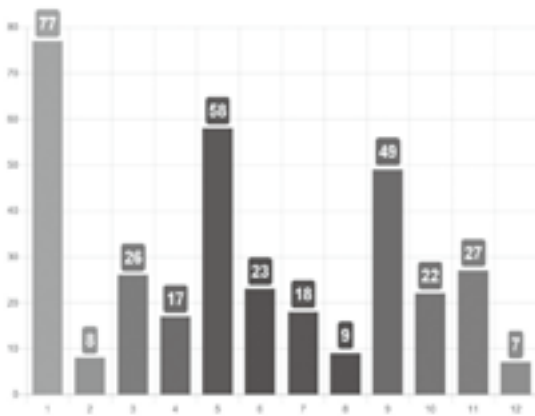
問4) あなたはどのようなことを重視して職業を決めますか。(複数回答可)

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1. 自分の能力が生かせる | 2. 会社の規模が大きい |
| 3. 会社のイメージ | 4. 通勤時間が短い |
| 5. 給料 | 6. 休みが多い |
| 7. 保険などが充実してる | 8. 周りの人の勧め(家族・先生・友人) |
| 9. 人間関係 | 10. 働く時間帯(残業や夜勤など) |
| 11. 仕事内容が楽そう | 12. その他() |

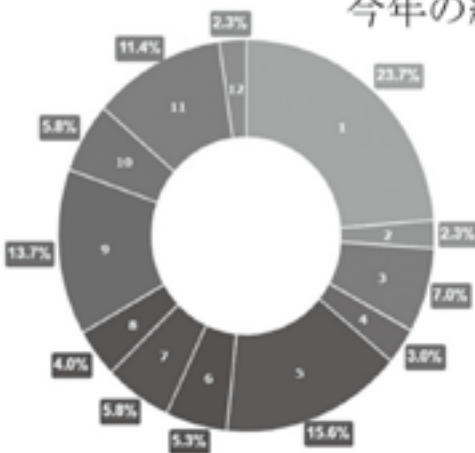
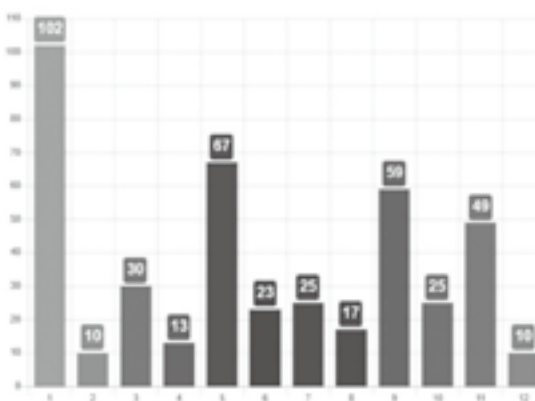
(4) あなたはどのようなことを重視して職業を決めますか。



昨年の結果



今年の結果



何を重視して職業決定を行うかについては昨年とそこまでの変化は見られなかった。「自分の能力が生かせる」が最も多く意見としてみられており、自分がこれまで学んできた知識や技術を生かして働けるということを一番重視していることがわかる。このことから、生徒の適性や強みを引き出し、自己理解を促すことによって、自分の就職や進路に対する意識をより強く持つのではないかと考える。

また、「給料」といった回答も多く見られた。前の考察でもあったが収入や家計の援助を希望に就職を目指す生徒が多いことから「給料」という回答があったと思われる。その中で、就職1年目としてはかなり高めの給料や無茶な要求をする生徒も見受けられており、社会の常識や社会人としての最低限の情報提供が必要ではないかと感じる。社会人としての最低限身に着けておくべきマナーや知識をいかに高等専修学校のカリキュラムの中で身に付けさせることができるのかが重要なポイントであろう。

また「人間関係」を重視する生徒が多いことから、職場の上司との関係や同僚との関係などに不安を感じていることがわかる。重視する具体的な内容としては「コミュニケーションが苦手」「敬語などの使い方に不安を感じる」「ギスギスした職場に入りたくない」などがあげられるのではないかと考える。特にコミュニケーションに対する不安の多くは、「うまく話せるか不安だ」「仕事上必要な会話は大丈夫だが、それ以外の会話は不安」「世間話が苦手」などが意見としてあげられる。こういった不安を取り除くカリキュラムとしてロールプレイや実際の企業体験の中で学ぶ機会が必要であると考えられる。

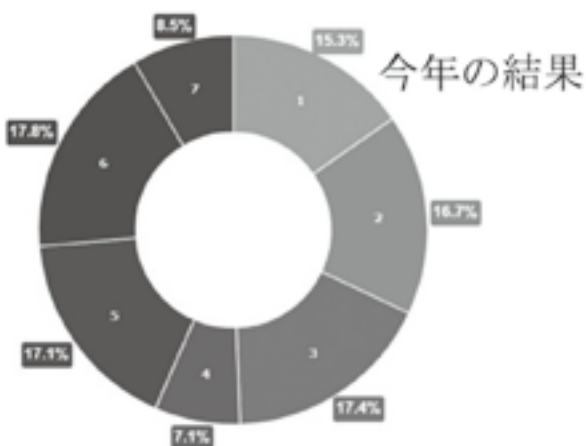
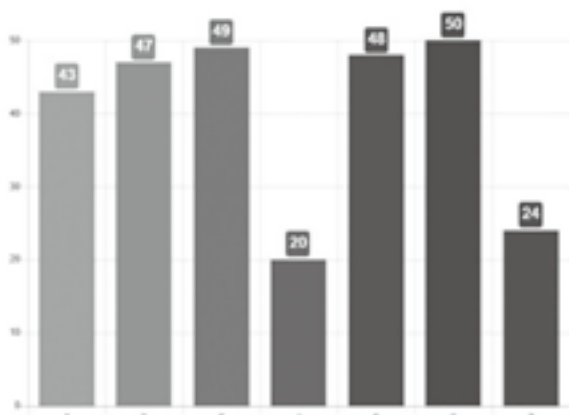
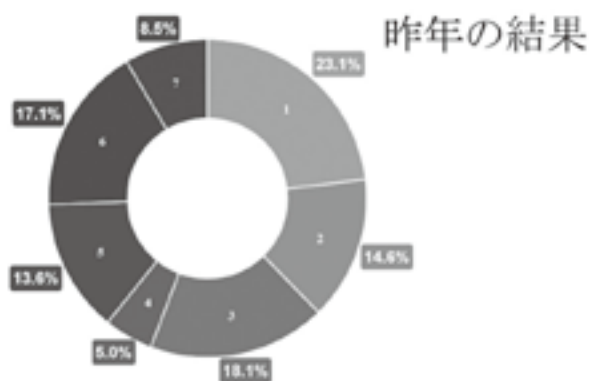
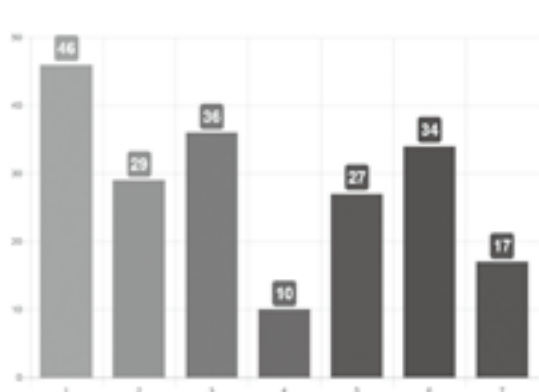
これらの結果から、生徒一人ひとり重視しているポイントは違うため、その生徒が何に対して重視しており、何を軽視しているのかを把握し、それに適した支援を行うことが重要と考える。そのためには生徒自身の自己理解は必須であり、その自己理解を促せるカリキュラムも必要といえるだろう。

問5) あなたが今までの学習活動の中で、進路選択で必要(役に立った)と思うような学習はどれですか。(複数回答可)

1. 五教科の授業
2. 進路説明会
3. 三者懇談
4. 担任のホームルーム
5. キャリアに関する授業
6. 職場体験
7. その他()

(5) あなたが今までの学習活動の中で、進路選択で必要(役に立った)と思うような学習はどれですか。

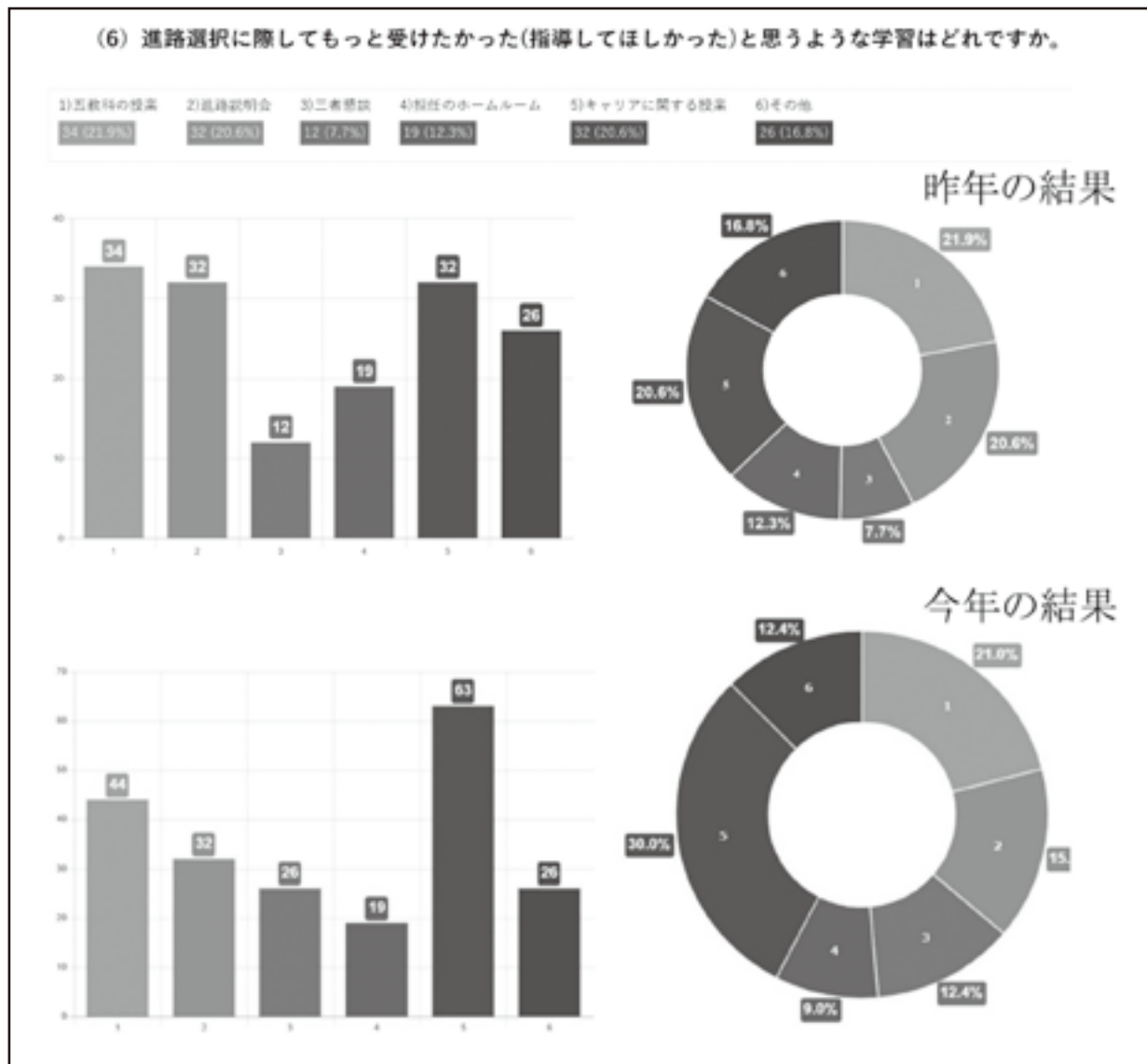
1)五教科の授業	2)進路説明会	3)三者懇談	4)担任のホームルーム	5)キャリアに関する授業	6)職場体験	7)その他
46 (23.1%)	29 (14.8%)	36 (18.1%)	10 (5%)	27 (13.8%)	34 (17.1%)	17 (8.5%)



昨年との大きな違いとして、「進路説明会」「三者面談」「キャリアに関する授業」「職場体験」の回答の割合が非常に伸びてきており、これらは進路決定に関して非常に重要な学習活動であり、進路決定に不安を抱える生徒が非常に多いことから必要に感じている割合が増えたものと思われる。これにも新型コロナウイルスによる影響が多少含まれていることが考察できる。また全体的にこれらの回答がまんべんなく伸びてきていることから、生徒一人ひとりにとって重要に感じている活動が違うことが見受けられる。進路決定について親の影響を感じる生徒は「三者面談」を重要視していると考えられ、社会人としての必須スキルを学びたい生徒は「キャリアに関する授業」を重視していると考えられるだろう。それぞれの生徒に応じた学習活動を生徒自身と一緒に選択していけるような指導支援も必要ではないかと考えられる。

問6) 進路選択に際してもっと受けたかった(指導してほしい)と思うような学習はどれですか。
(複数回答可)

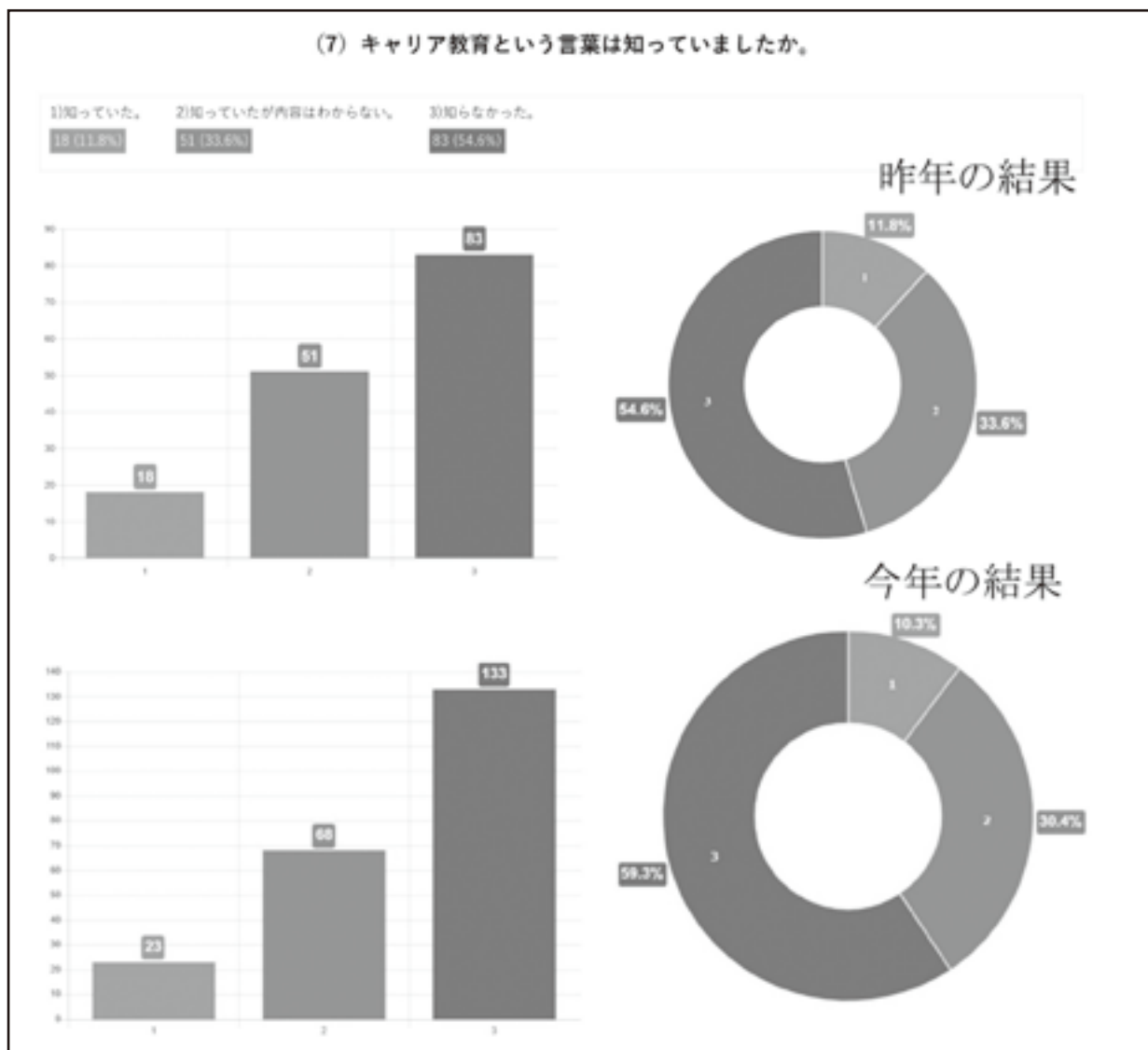
- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 五教科の授業 | 2. 進路説明会 |
| 3. 三者懇談 | 4. 担任のホームルーム |
| 5. キャリアに関する授業 | 6. その他() |



こちらも昨年との違いとしては「キャリアに関する授業」の割合が非常に増えてきている。この理由としては先ほど問5の考察でも述べたが、社会人としての必須スキルやマナー等最低限身に付けておくべきことを不安に感じている生徒が非常に多いことが挙げられるだろう。このことから、生徒が具体的にどのようなことを学びたいと感じているのかの調査や聞き取りは必須といえる。高等専修学校生の多くは職業の必須知識や技術の習得に関して専門に学習できる環境にいるため、社会人としての最低限必要な知識を学ぶ機会を持つことにより、より就職の際の不安や抵抗感を緩和し、社会人として速やかに定着できるようになるのではないかと。

問7) キャリア教育という言葉は知っていましたか。

1. 知っていた 2. 知っていたが内容はわからない 3. 知らなかった



昨年と同様に多くの学生が「キャリア教育」という言葉を知らず、聞いたことがあっても内容はわからないとの回答がでた。

キャリア教育の定義

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育

(中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について(答申)」(平成23年1月31日))

上記の定義のように、社会的・職業的自立のために大変重要なものであり、地域産業中核的人材を養成するためにも、すべての学生に指導する必要があるものである。今回の結果は大変残念なものであるが、今後の指導カリキュラムの中でキャリア教育を取り入れ、「働くこととは」「社会人として」といった社会に出るために必要な考え方や知識を身に付けてもらいたい。

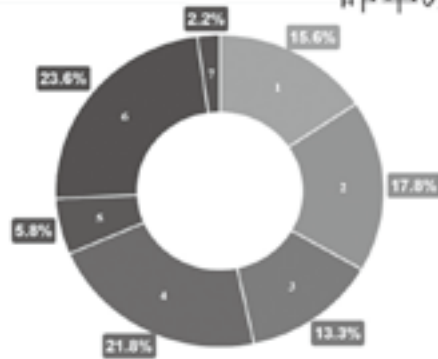
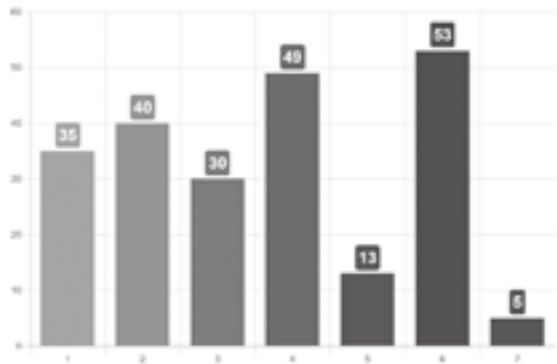
問8) 以下の中で、あなたが最も受けてみたい授業は何ですか。(複数回答者あり)

- 1. 職業や会社について調べる授業
- 2. 社会人から話を聞く授業
- 3. 適性診断などの授業
- 4. 挨拶や職場のマナー授業
- 5. 課題を調べるグループ授業
- 6. コミュニケーションを高める授業
- 7. その他 ()

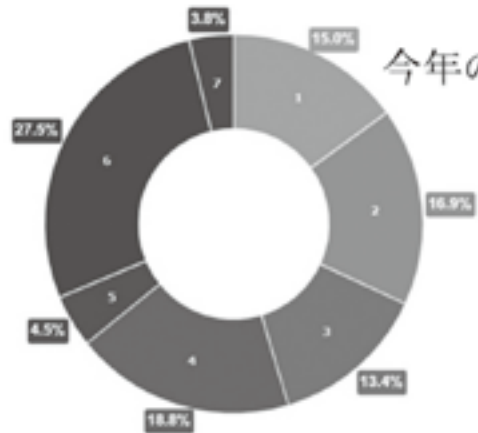
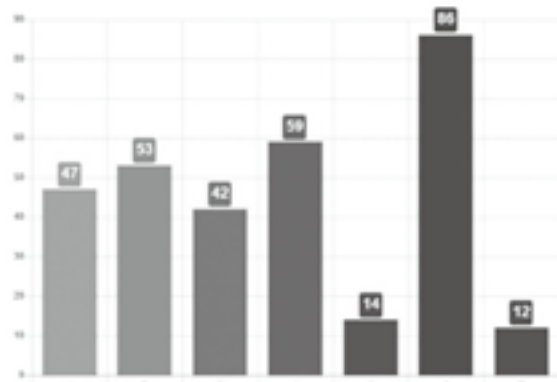
(8) 以下の中で、あなたが最も受けてみたい授業は何ですか。

1) 職業や会社について調べる授業 35 (15.6%)	2) 社会人から話を聞く授業 40 (17.8%)	3) 適性診断などの授業 30 (13.3%)	4) 挨拶や職場のマナー授業 49 (21.8%)	5) 課題を調べるグループ授業 13 (5.8%)
6) コミュニケーションを高める授業 53 (23.6%)	7) その他 5 (2.2%)			

昨年の結果



今年の結果



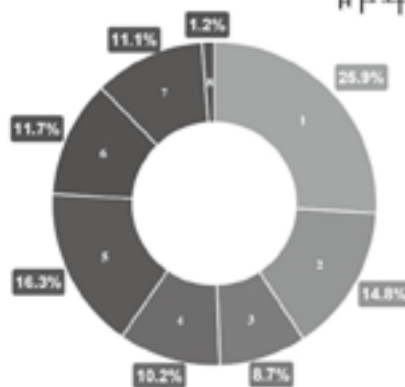
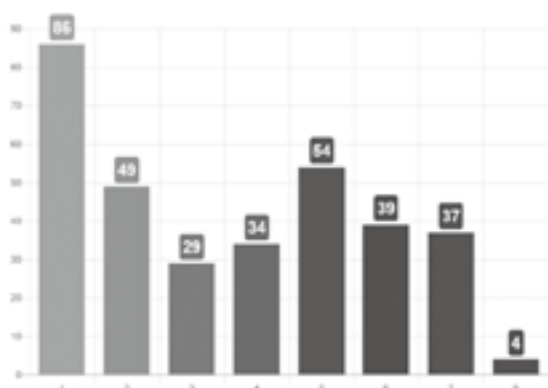
問9) 就職の際、あなたが自分自身に不足していると感じる能力は何ですか。(複数回答者あり)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. コミュニケーション能力 | 2. 敬語などの言葉遣い |
| 3. 時間を守るなどの生活習慣 | 4. 連絡・報告・相談の習慣 |
| 5. 仕事を覚えてこなす能力 | 6. 社会のルールへの忍耐力 |
| 7. 各種の資格取得 | 8. その他 () |

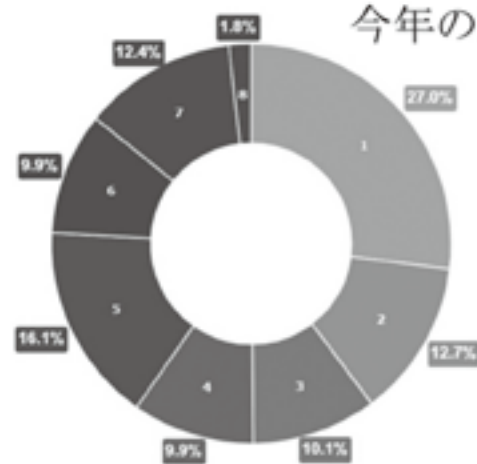
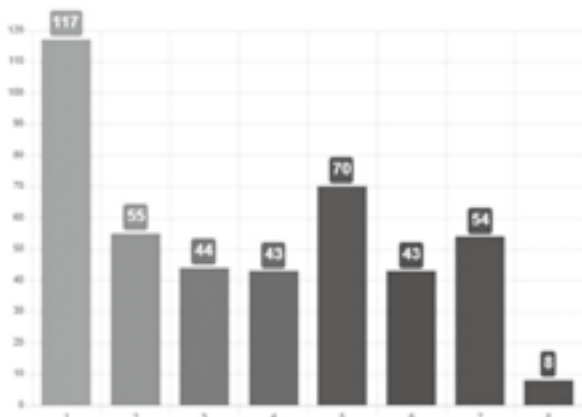
(9) 就職の際、あなたが自分自身に不足していると感じる能力は何ですか。

1) コミュニケーション能力	2) 敬語などの言葉遣い	3) 時間を守るなどの生活習慣	4) 連絡・報告・相談の習慣	5) 仕事を覚えてこなす能力
86 (25.9%)	49 (14.8%)	29 (8.7%)	34 (10.2%)	54 (16.3%)
6) 社会のルールへの忍耐力	7) 各種の資格取得	8) その他		
39 (11.7%)	37 (11.1%)	4 (1.2%)		

昨年の結果



今年の結果



昨年と同様に2年生の学生が受けてみたいと感じる授業として、「コミュニケーションを高める授業」「挨拶や職場のマナー授業」を上げる生徒が多く見られた。また同様に不足している能力については「コミュニケーション能力」と回答した生徒が多く、多くの学生がコミュニケーションに不安を抱えており、社会人として必要なマナーなどについて学びたいと感じていることがわかる。また、コミュニケーションに不安を抱えていることで進路決定に前向きになれていないということではないか。

そのため、まずはコミュニケーション能力は、誰もが身に付けるべき能力であり、社会人として最低限必要と考えられている能力であることを、カリキュラムの中で生徒に指導することが重要である。そのため、社会人として社会に出るために専修学校としてカリキュラムでの教育・指導が不可欠であると言える。

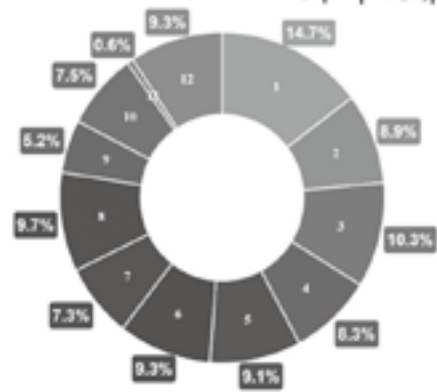
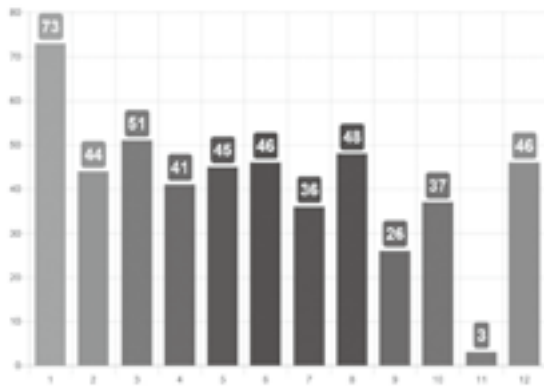
問 10) 企業が求める人材とはどのようなものだと考えますか。(複数回答可) またその理由。

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1. コミュニケーション能力 | 2. 勤労意欲がある |
| 3. 積極性・チャレンジ精神がある | 4. 体力・健康 |
| 5. 責任感 | 6. 元気の良さ |
| 7. 基礎学力 | 8. 専門性・資格取得 |
| 9. 基本的な生活習慣 | 10. 協調性 |
| 11. その他 () | |

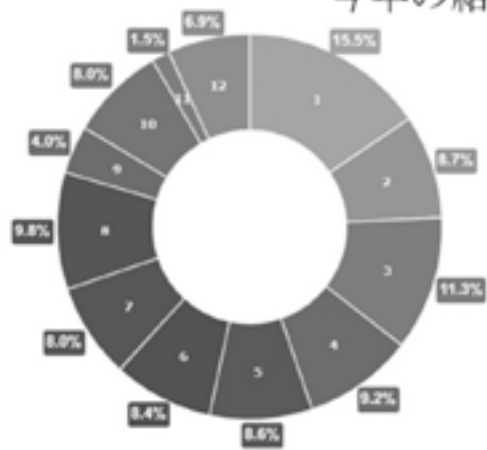
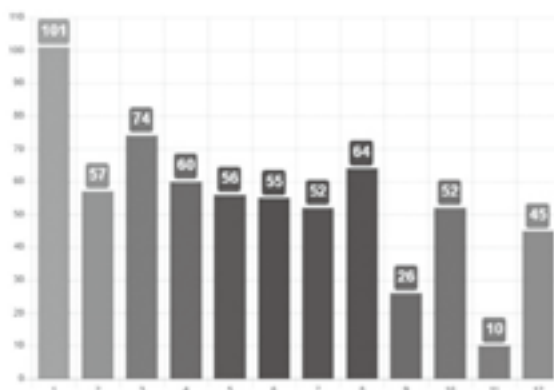
(10) 企業が求める人材とはどのようなものだと考えますか。



昨年の結果



今年の結果



昨年度との変化はそこまで見られなかった。昨年と同じで「コミュニケーション能力」の回答が飛びぬけてその他の回答が横並びとなった。学生にとって企業が求める人材としてコミュニケーション能力を高く求められると考えている学生が多いことがわかる。また、その理由としては「仕事で最低限必要と感じるから」「人との関係も必要と思うから」「コミュニケーションが取れないと会社の雰囲気を悪くするから」「上司と上手くやっていくためにも必要と思う」といった回答があった。また昨年と同じく、問9にて自分に不足する能力で「コミュニケーション能力」と回答した学生の多くが、このように回答している。このことから、コミュニケーション能力が働くために必要で求められている能力であり、多くの学生が「身に付けたい」「必要だ」と感じていることがわかる。

「その他」の回答としては自分の目指す職業に特に必要と感じる項目を選びその理由を記載している学生が多く見られた。例として、「体力・健康」を選んだ学生は「力を使う場面が多い仕事なので」と回答しており、「協調性」と回答した学生は「チームで行う仕事が多いと聞いたので」というコメントがあった。自分の目指す就職先において求められる人材について調べている学生も多いことがわかる。

また「その他」の回答として、「企業によって求める人材は違う」と回答が複数あがり、目指す企業によって求める能力は違うと認識している生徒がいることがわかる。つまり、目指す企業に求められる人材になりたいという思いを持ってはいるが、その企業にのみ受け入れられればよいという考えをもつ生徒が若干数いるのではないかと推察できる。企業に受け入れられる人材になるということよりも、社会人として必要なスキルを身に付ける必要があることを理解できるような指導が必要だろう。